産業医に聞いた！
いま知りたい、訪問先企業の実情

新型コロナウイルス感染症対策はどのように行われていたのか

株式会社ドクタートラスト

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

1

調査背景と目的

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

調査背景と目的

背景

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行に関して、産業医の先生方から「他の先生たちはどうしているの？」という問い合わせを多くいただいたこと。

目的

１．感染症対応における産業保健の実情を把握すること。
２．１をもとに、今後の産業保健活動に活かせる情報を発信すること。

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

調査背景と目的

調査内容

産業医の仕事環境がどのように変化したか、企業ではどのような対策を行っていたか。

調査方法・回答数

株式会社ドクタートラストの登録産業医にアンケートフォームURLをメールで送付。317事業場で働く産業医から回答を得た。

調査時期

2020年4月29日～2020年6月5日

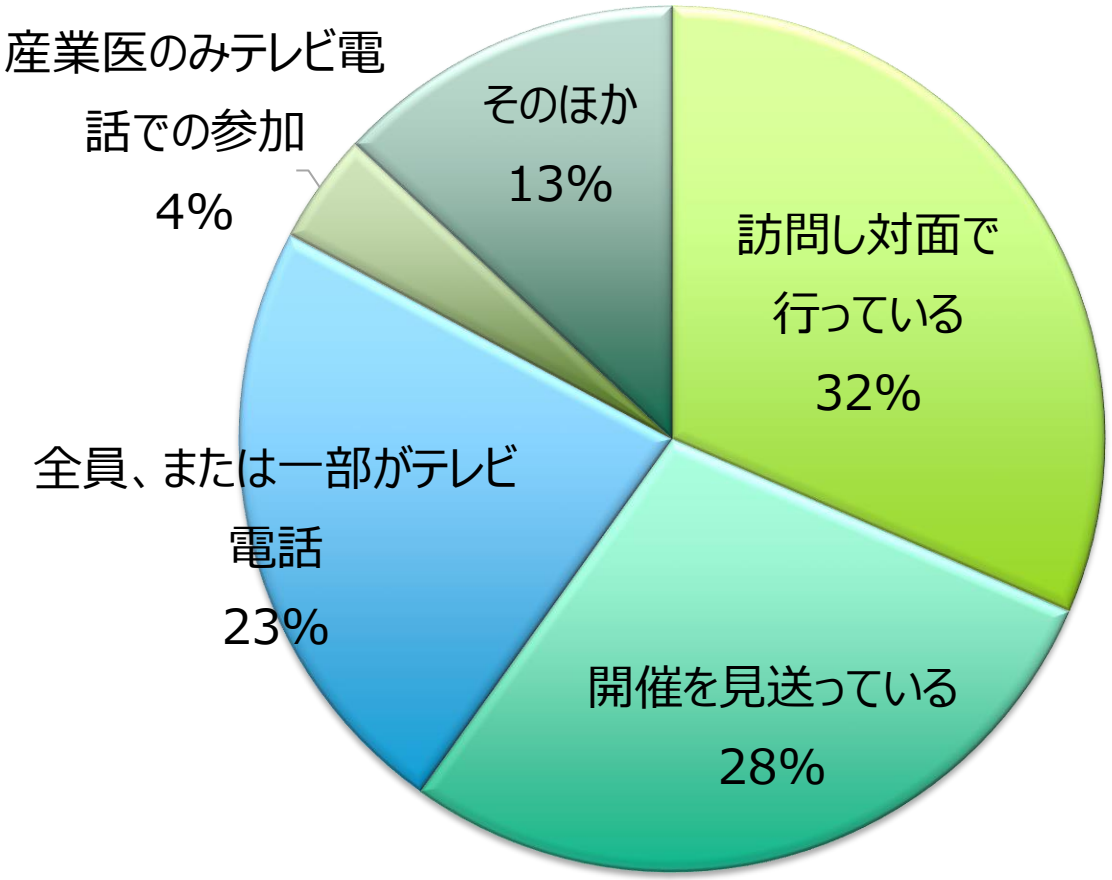
© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

調査結果

2

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 衛生委員会、産業医面談の状況を教えてください



要点

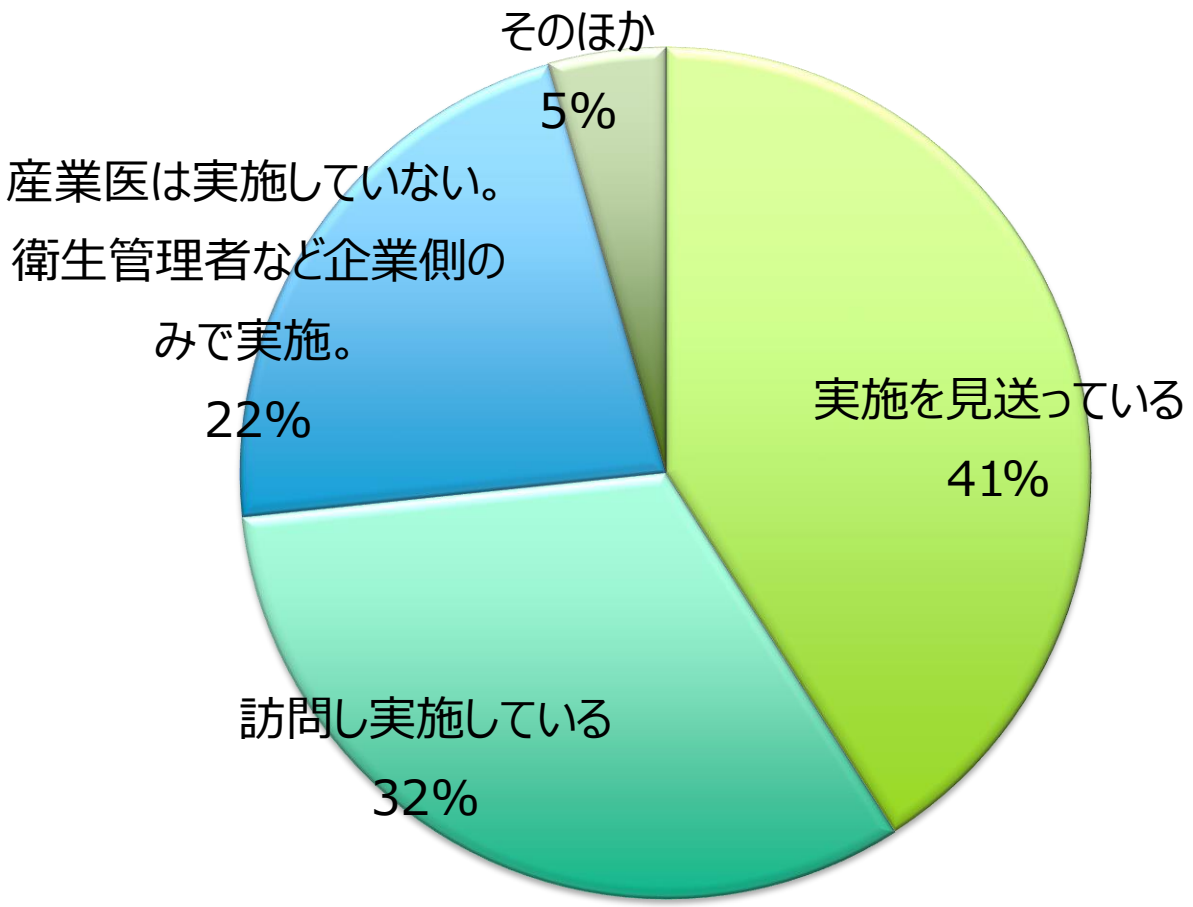
●3割を超える事業場が、本来の業務形態である対面対応を継続している。

●接触を避けた新たな試みに取り組んだ事業場が、3割に留まった。

●業務を見送った事業場も3割前後確認された。

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 職場巡視の状況を教えてください



要点

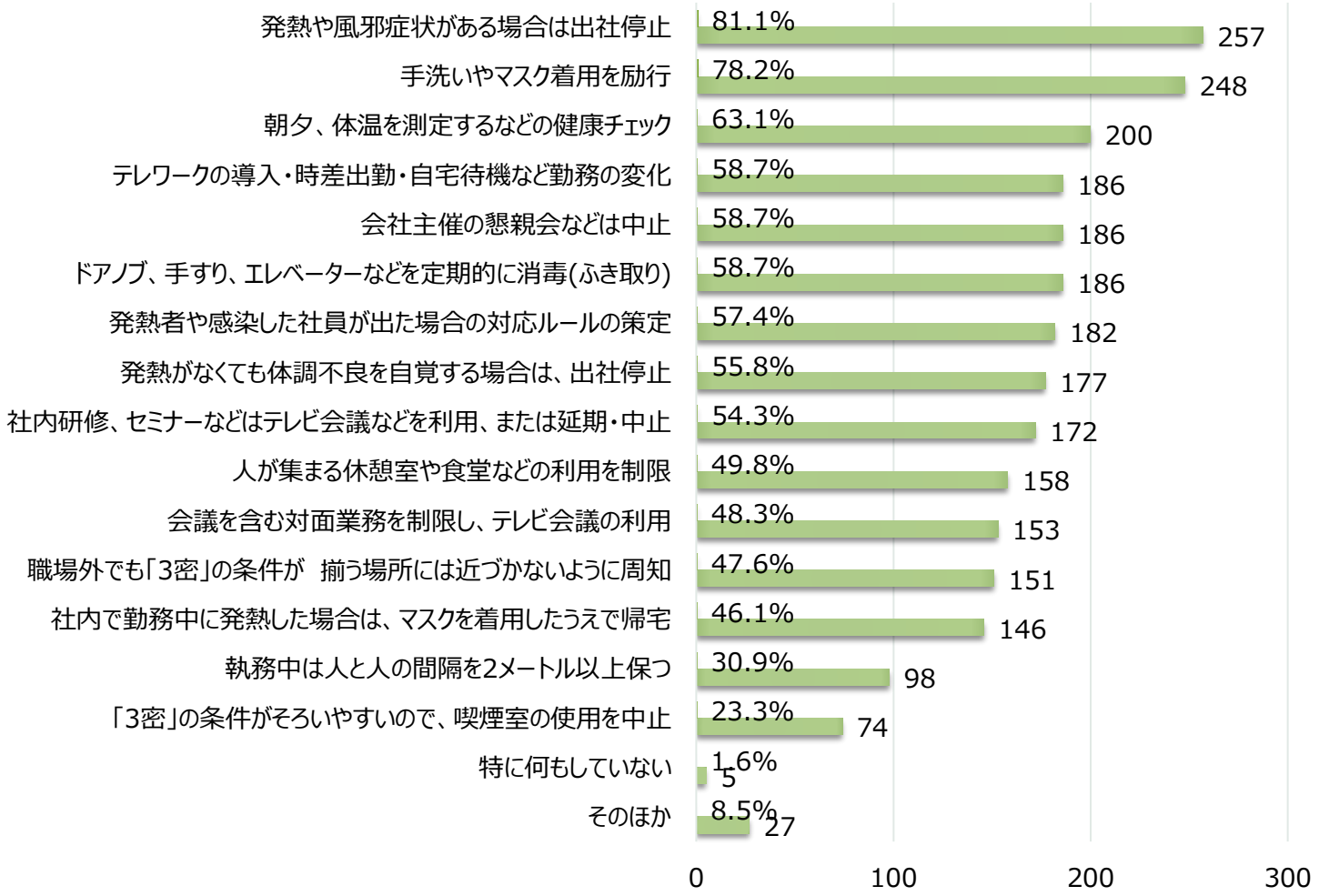
●前問と同様に訪問継続している事業場が3割を超える。

●訪問継続により、「現場の感染予防対策を確認することもできる」という意見が見られた。（後記「現場の声」参照）

●衛生委員会や産業医面接にくらべると、職場巡視を見送る事業場が多い。

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 訪問している事業場では新型コロナウイルス感染（COVID-19）に対してどういった対策が行われていますか？（複数回答）



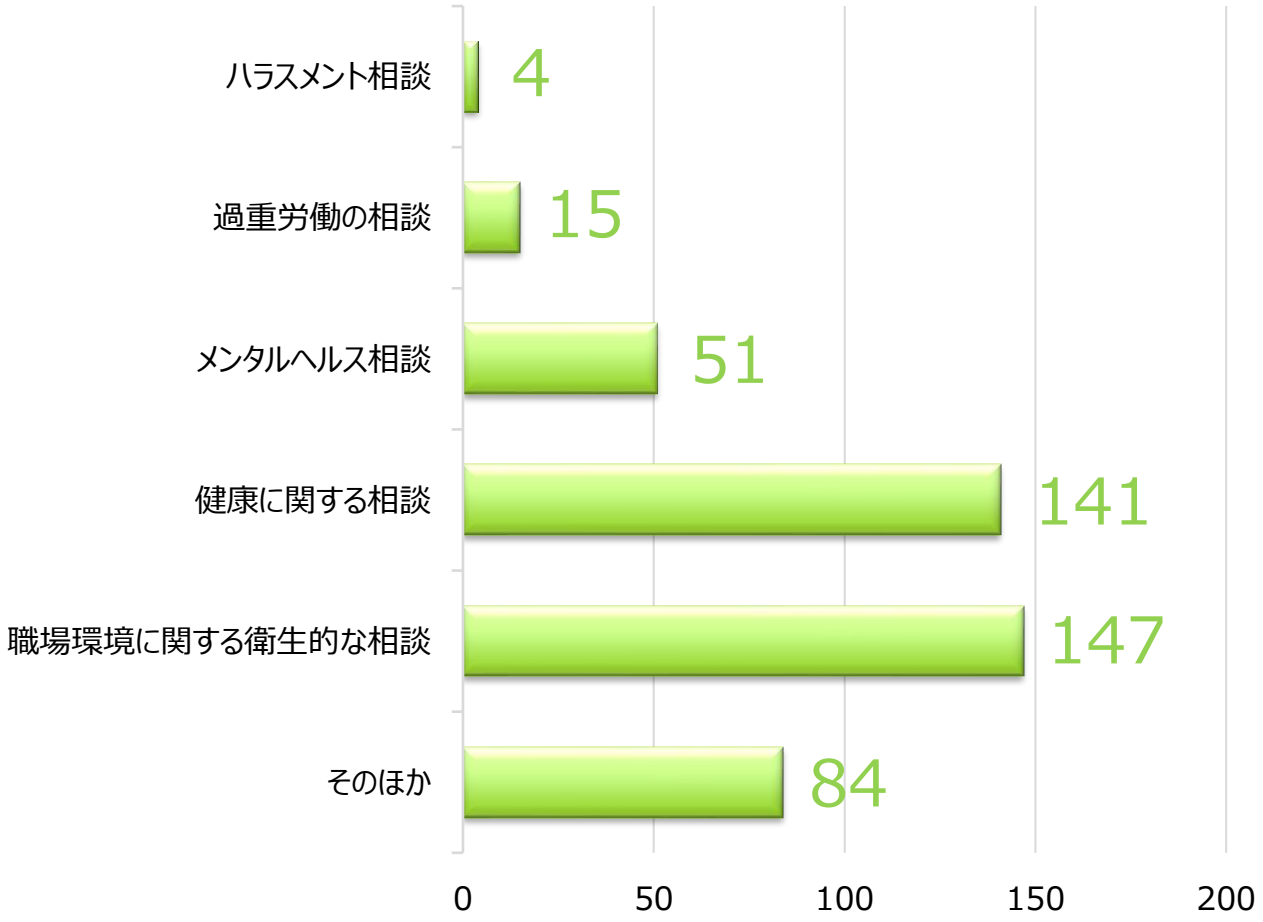
要点

●風邪症状のある際の出勤停止や手洗いなど、自己管理でできることを取り入れている事業場が多い。
（317事業場のうち、8割前後の事業場が実施）

●「人と人との間隔を2m保つ」というソーシャルディスタンスの取り組みを行う事業場は、3割に留まっている。

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 新型コロナウイルス感染症（COVID-19)に関連して、事業場や従業員からどんな相談が増えましたか？（複数回答）



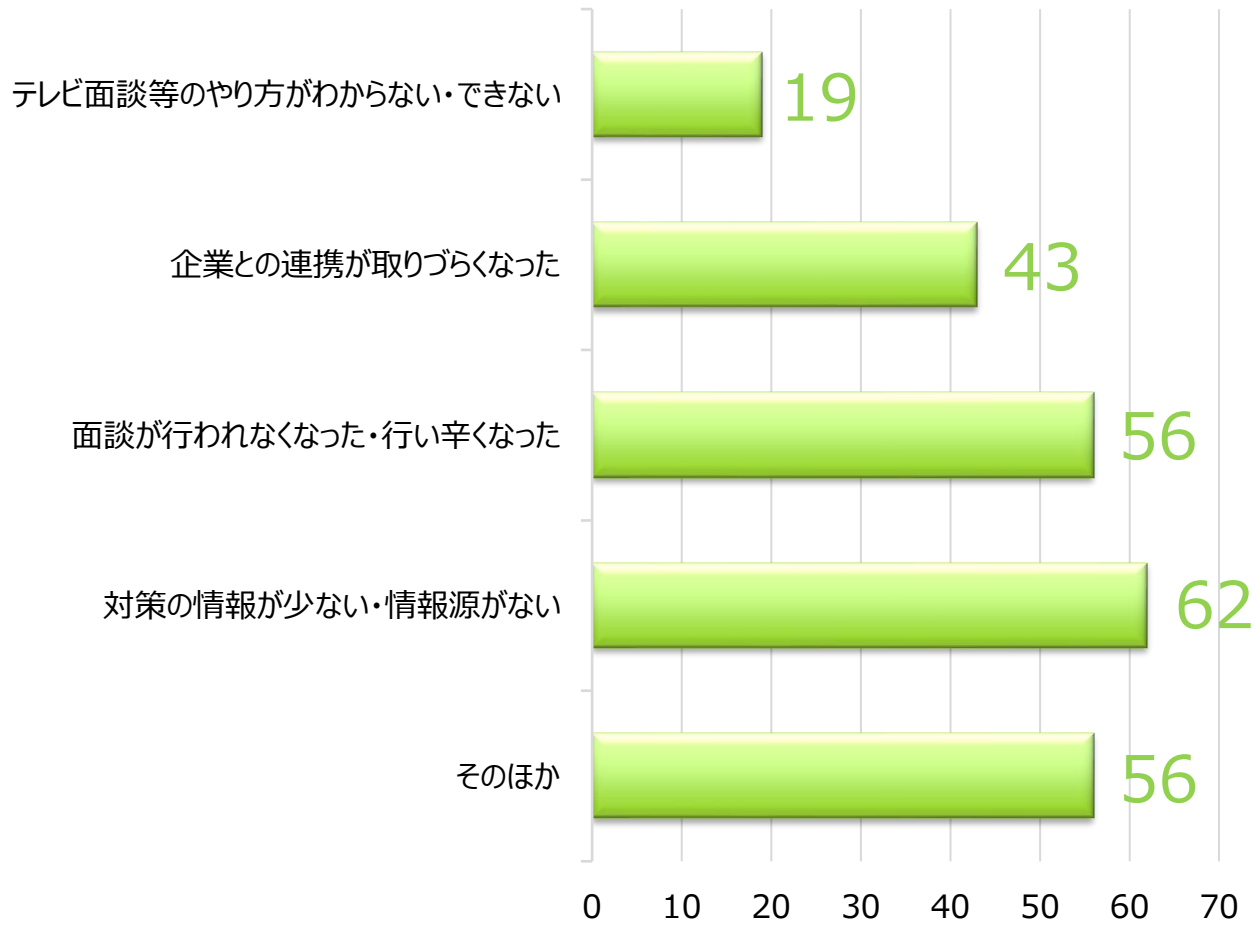
要点

●「衛生的な相談」や「健康に関する相談」という、感染症に関わる相談が6割を超えている。

具体的には新型コロナウイルス感染症の情報そのものから、感染が疑われる従業員が発生した場合の対応方法など。
（後記「現場の声」参照）

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 産業医として困っていることはなんですか（複数回答）



要点

●感染症対策が事業場の手腕に委ねられている。

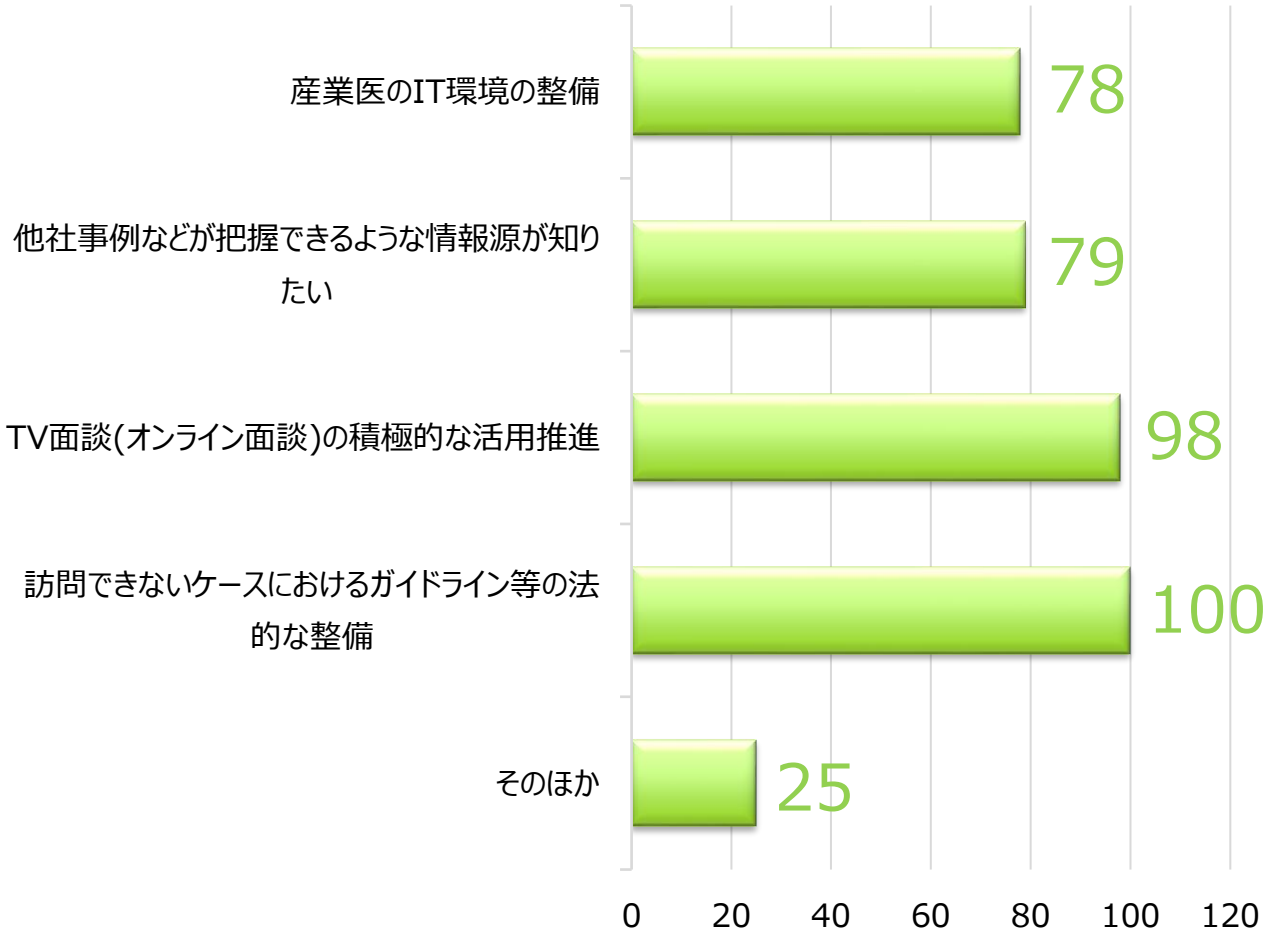
●オンライン対応に関して賛否ある。

●県をまたぐ訪問や複数事業場の訪問を行うことで、産業医自身がウイルスを持ち込むリスクも懸念される。

●常態化していた産業医の働き方を変更せざるを得ない現状がある。
（後記「現場の声」参照）

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 今後産業医活動を継続するにあたり希望することは何ですか（複数回答）



要点

●産業医は医療者として迅速な対応が求められるものの、感染症に対する情報の少なさが目立つ。

●多くの産業医が、ガイドライン作成やオンライン対応などの体制整備を求めている。

●非対面の面接指導も提言されている（下記URL参照）

＜参考＞遠隔産業衛生研究会世話人一同「遠隔産業衛生研究会から嘱託産業医の皆様に向けての提言」
https://www.sanei.or.jp/images/contents/416/Information_JSOH-telemed.pdf

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

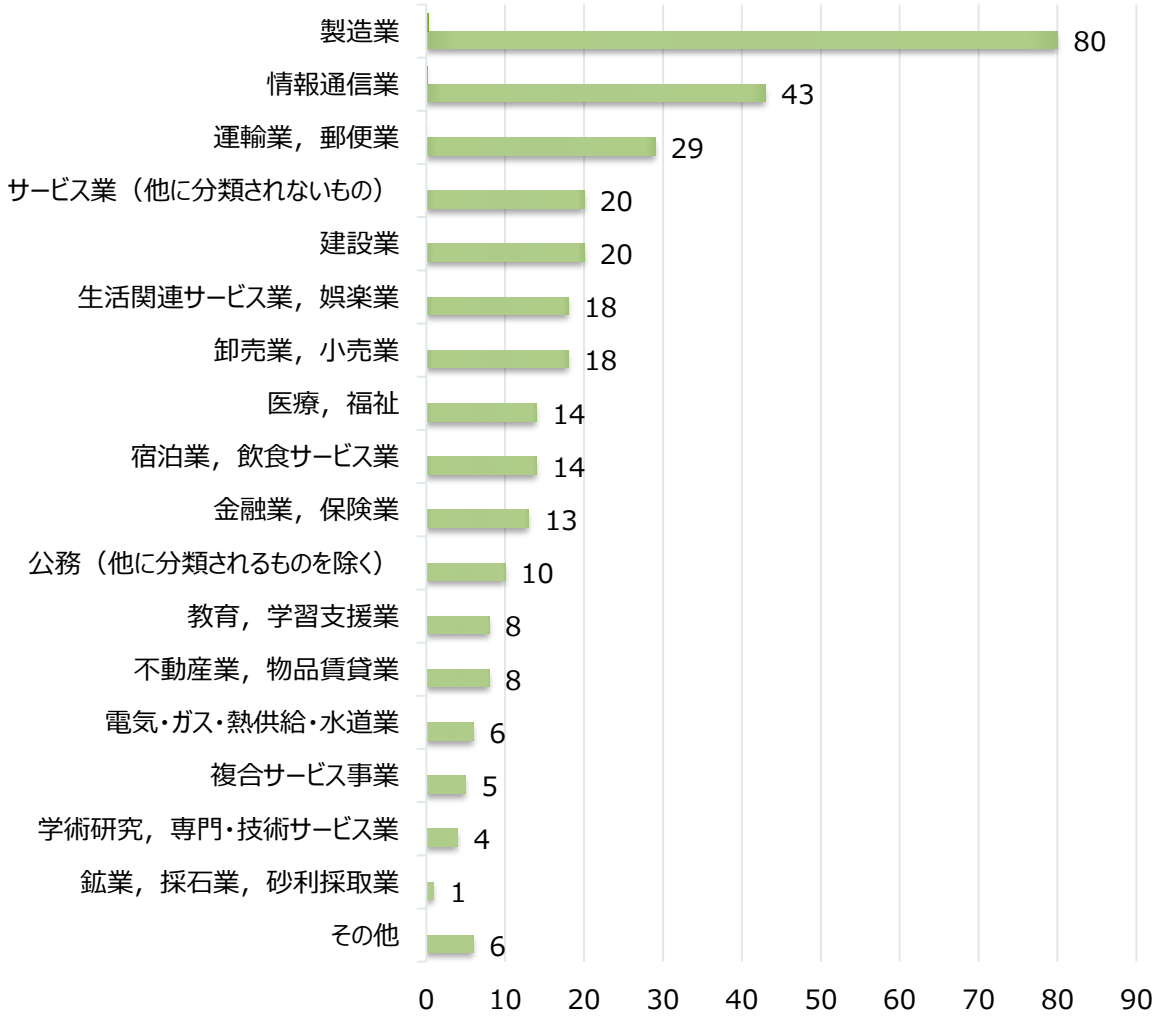
付記

3

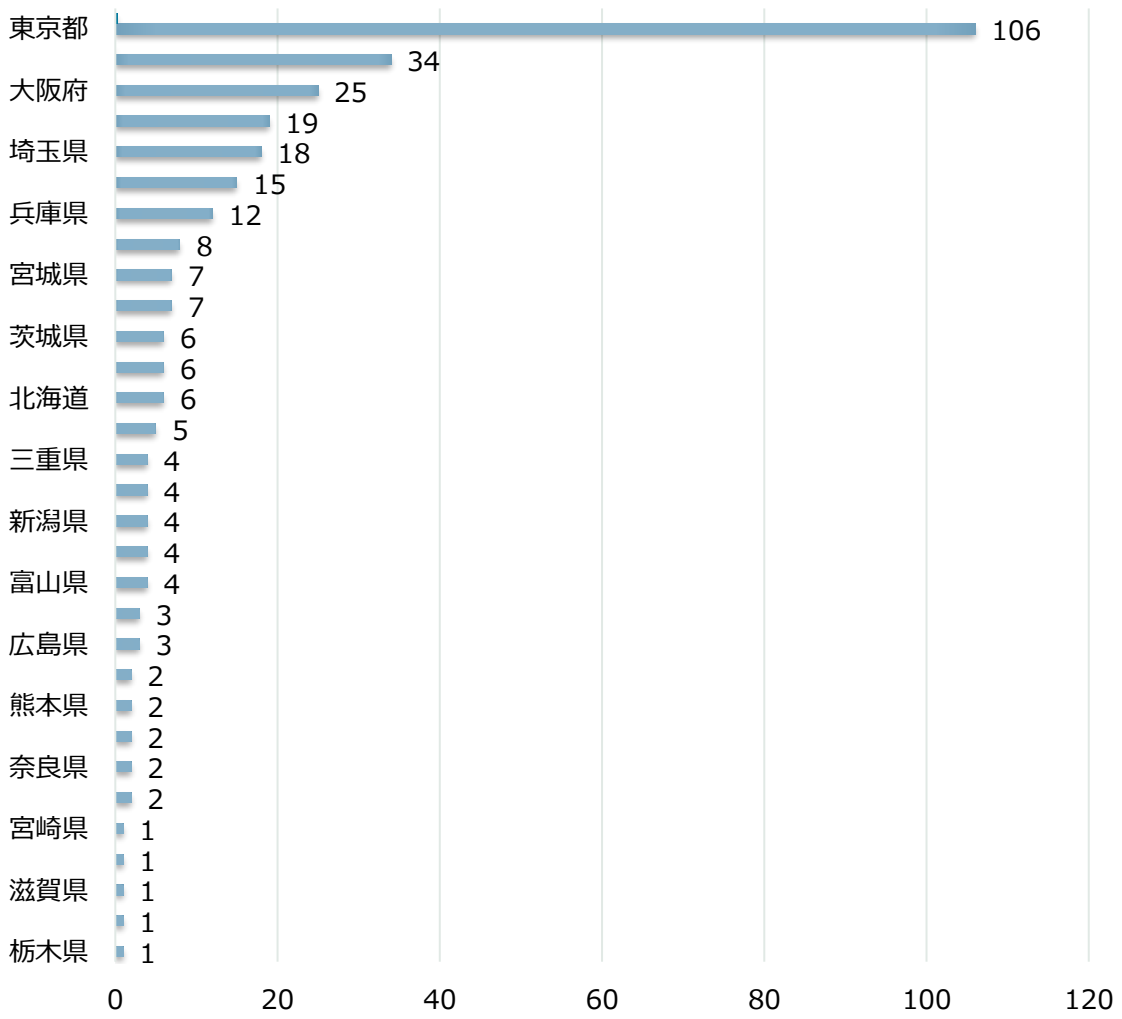
© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

アンケートに回答いただいた産業医の訪問先属性（1）

訪問先の分類

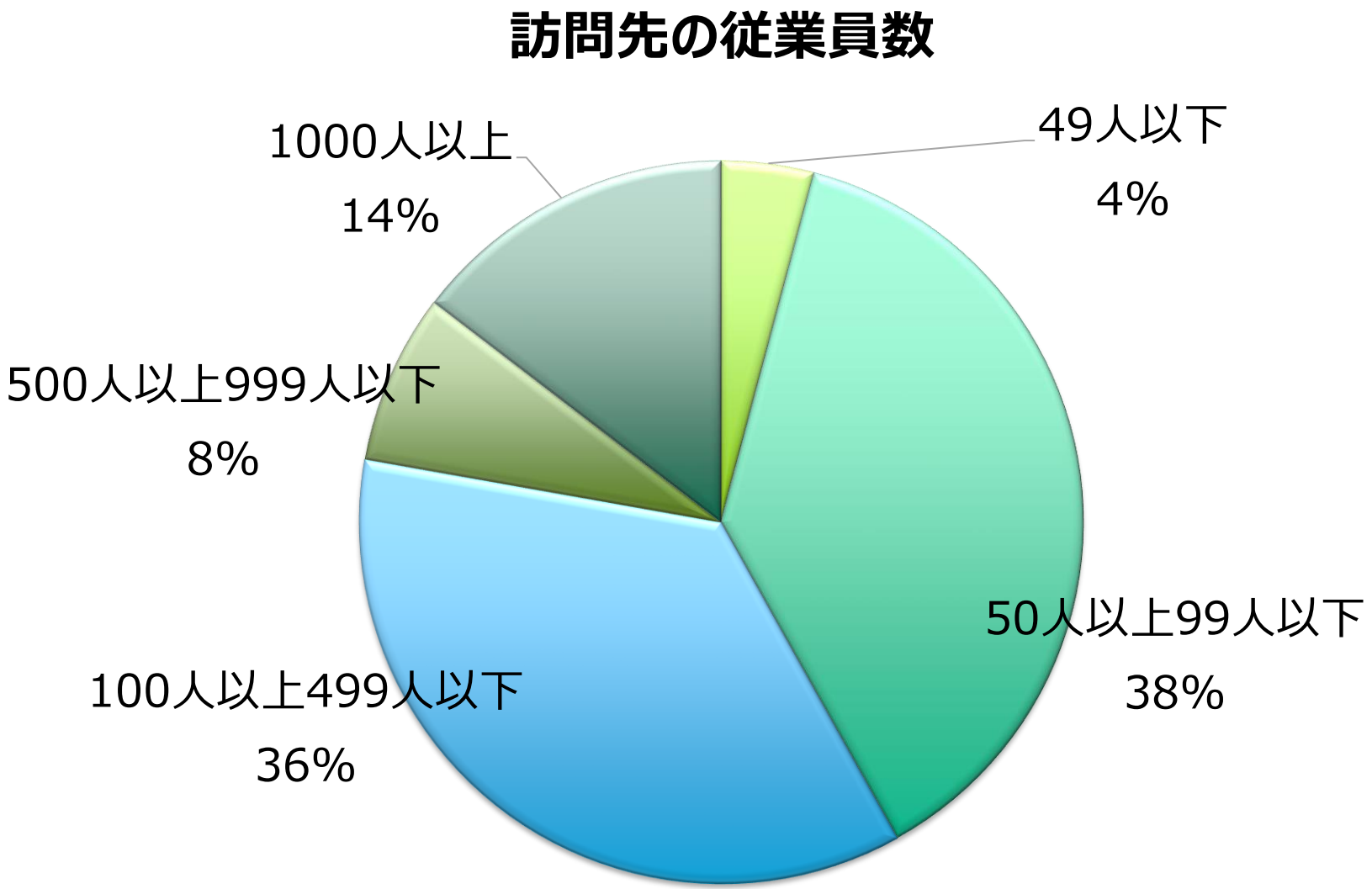


訪問先の所在地



© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

アンケートに回答いただいた産業医の訪問先属性（2）



© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

各設問に対する
現場の声を
ご紹介いたします。

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 衛生委員会、産業医面談の状況を教えてください①

電話	・ 電話での産業医面談（過重労働面談） ・ 面談のみ電話、健診結果読んで終了 ・ 面談については電話で行っている
実施	・ 6月から再開予定 ・ 人数を絞って、短時間対面 ・ 委員会は別の内科医が行っている ・ 衛生委員会は、時間短縮や人数制限を訴えたが30人一堂に会する方法は継続された ・ 復職面談は対面で実施 ・ 部屋の窓を開け2mあけて対面で面談、または別室に入ってもらい電話面談で行っている ・ 会議、面談などは2mの間隔をあけて行っています ・ 過重労働面談は遮蔽して実施。今後Skypeを利用予定

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 衛生委員会、産業医面談の状況を教えてください②

メール	・ 産業医も参加してメール審議で開催 ・ 衛生委員会はメールで文書決議 ・ 会議へは不参加。衛生管理者と電話やメールで連絡を取り、情報交換や意見を伝えています
見送り	・ 衛生委員会は当面延期 ・ 予定されていた面談は希望者以外はリスケジュールのうえ、延期になっています ・ 全職員自宅待機につき衛生委員会開催なし ・ 衛生委員会は国の通知に基づき中止中 ・ 飲食業のため顧客が激減し、従業員の在宅待機が多くなっている関係で面談ができなくなりました ・ 3月までは通常開催、ただし衛生委員会の開催は見送り、4月以降は電話面談のみ
資料	・ 安全衛生委員会は資料回覧のみ（資料の一部を産業医が作成する）

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 衛生委員会、産業医面談の状況を教えてください③

WEB	・ 面談該当者と産業医でWebにて面談 ・ 産業医はスマートフォンでの参加
産業医のみ見送り	・ 所属医療機関がコロナ患者受け入れ施設のため、産業医が感染しているかもしれないと伝え、欠席をさせてもらった ・ 産業医の訪問は原則中止で、衛生委員会は出勤している社員メンバーのみで開催
所感	新型コロナウイルス感染症流行前から、在宅勤務を進めていた企業は、一気に在宅勤務が進むとともに、産業保健活動もスムーズにオンライン化できました。一方で担当者によっては、そもそもオンライン化することへの意識が低い企業もある印象を受けました。生産性の高い企業、成長スピードの速い企業や個人は、衛生委員会・産業医面談ともオンライン化をスピーディに進めていると感じます。企業と産業医両方のITリテラシー・情報リテラシーの高さが重要です。

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 職場巡視の状況を教えてください

実施	・ コロナ対策巡視：換気、マスク着用、3密チェック ・ 別の医師が担当 ・ 体温チェック、マスク着用 ・ 食品工場ですが、工場巡視はせず、外周（屋外）の巡視となった ・ 巡視先の部署で新型コロナ感染対策として3密の防止が適切にできているか否かを確認している
通達	・ 産業医から体温チェックによる就業判断の通達
メール	・ 産業医も参加してメール審議で開催
見送り	・ 休業している部署は中止
所感	社員のかなりの人が在宅勤務になった状況では職場巡視自体に意味はないと思います。社会のルールが変わったわけで、それとともに産業医業務のルールも変わる（変える）必要があると思います。

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 訪問している事業場では新型コロナウイルス感染（COVID-19）に対してどういった対策が行われていますか？①

環境整備	・ 窓口業務の縮小と物理的遮断 ・ 机と机の間に遮蔽板を設置
事業の休止	・ 3月より一部例外を除いて全員在宅勤務の方針 ・ 飲食店舗は全て休業中 ・ 映画のシスコンなので、現在閉鎖中です ・ 基本全員在宅勤務対応
基本的な衛生管理	・ 来客に対しても手指消毒の徹底 ・ 手洗いや消毒をしない手で顔にふれないこと、鼻から下の身体を僅かな間でも冷やさないことを励行 ・ 本人や同居家族に発熱等関連症状がある場合は自主的に特別休暇（出社停止命令はない）

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 訪問している事業場では新型コロナウイルス感染（COVID-19）に対してどういった対策が行われていますか？②

現状把握が追いついていない	・ 訪問していないので不明 ・ 訪問自体キャンセルのためわかりません ・ コロナウイルスに対する講話が主体で、電話で行っているため、特にチェックしていません ・ 直接出向いていないので、今度対策を聞き、アドバイスを行うつもりです
行動範囲の制限	・ 出張制限、国外は禁止 ・ 一時帰休の実施 ・ 都、県境をまたぐ通勤禁止

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 新型コロナウイルス感染症（COVID-19)に関連して、事業場や従業員からどんな相談が増えましたか？①

感染症の問題から	・ コロナ罹患後の復職面談 ・ コロナ感染について。受診のタイミングなど ・ テレワークをさせてくれない。出社を求められる ・ コロナへの知識と体調不良の対応をどうしたらいいかの相談 ・ 今後、職員からCOVID-19発生時の対応 ・ 発症が疑われる従業員への対処の相談 ・ 感染防止のために従業員一人ひとりが注意すべき点について ・ 時短営業について ・ COVID-19感染の最近の知見について

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 新型コロナウイルス感染症（COVID-19)に関連して、事業場や従業員からどんな相談が増えましたか？②

感染症の問題から	・ 訪問していないので特になし ・ 事業場の産業医としては質問を受けていない ・ 産業医として現在出勤を見合わせているため相談はなし ・ 産業医の訪問は見合わせているため不明 ・ 店舗休業中のため具体的な相談はなし ・ コロナウイルスに関して、特に増えてはいません
相談件数の減少	在宅勤務が増え、身体負担が減り、健康状態は改善傾向です。在宅のため、産業医面談は定時の面接が多いですが、和やかな雰囲気で長くお話する人が増えました。
相談件数の増加	在宅のため、理由を問わず産業医面接希望者が増えました。

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 産業医として困っていることはなんですか①

業務体系の変化	・ 面談などはほぼ同じようにしていましたが、事前に資料を読み込んでおく必要もあり、資料や意見書の受け渡しが、煩雑と感じました ・ 職場の状況や情報が入りにくくなっています ・ テレビ電話で面談は行えているが、対面の相談希望も少なくないし、産業医としてもそのほうが状態はよくわかるので早く対面での面談ができるようになればいいと思っている ・ ストレスチェック対応を延期 ・ 電話面談は、やりにくいところもあり、変化のない人は短時間で終われる利点もある ・ 産業医業務が減って収入が減った。事業所の存続も心配。今後の見通しも立たず、さまざまな相談が一気に増加するように思われる ・ メールなどによるリモート対応時のセキュリティにリスクがある ・ Zoomなどの使用を考え中です ・ 新型コロナウイルス感染防止対策を考えないといけないことが加わり、仕事が滞るようになった

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 産業医として困っていることはなんですか②

業務体系の変化	・ 初めての面談者とのコミュニケーションの取り方が難しくなった ・ 巡視以外は特になく、むしろリモート産業医活動は充実してきた ・ 連携がむしろ密になったと感じています
特になし	・ ノートPC、iPadの貸与など、リモート環境を整えていただいて、特に困っていることはありません ・ 大きく困っていることはないが、ウェブ面談では込み入った話がしづらく、産業医はいらないのではないかと不安になる
感染症の問題に関わること	・ 県境を越えての仕事が多く一番ウイルスを持ち込みそうなのが産業医の自分、という現実 ・ 情報が多すぎる ・ 産業医として力を発揮すべき時に、出社禁止で、何もできなかったことが、残念です

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 産業医として困っていることはなんですか③

企業の対応	・ 一方的に訪問不要といわれた ・ 遠隔面談の実施の必要性を説明しているが、設備や予算の不足により実施できない事業所がある ・ 仕方はないが、訪問中止になる事業所もあること ・ 対面会議を継続していること ・ 会社によって温度差がある ・ 事業者が産業保健スタッフへの意見聴取を行わない ・ セキュリティの問題でテレビ電話の導入に消極的 ・ 産業医側としては、テレワーク（遠隔面談）でいいと思っているが、事業所側がそれを認めない ・ 喫煙所を閉鎖することのみ、社員からの抵抗が強い ・ 人事担当者によって不調者対応などに関する課題解決力のばらつきが大きい。オンライン化という発想自体がない企業もあります ・ 産業医と会社側で対策意識の差がある。社内での対策が不十分、理解していただけない

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 今後産業医活動を継続するにあたり希望することは何ですか①

体制整備	・ オンライン下での産業医契約の締結 ・ 衛生管理者が労基に問い合わせたら職場巡視は法令通りに行うようにとのことだったが、緊急事態宣言が出されている中、不要不急の業務と思います。産業医義務の中で何が不要不急の義務に当たるのか、検討が必要と思います ・ 産業医どうしの情報交換場所があるとよい。衛生講話用の資料の用意は多くの時間を要するので共用できるものがあると嬉しい ・ リモート対応時のセキュリティガイドラインの確立と普及 ・ ビデオ会議できる良い環境の確保が困難なため、近くで貸し会議室等の業務する場所があると助かります ・ 医療現場では、遠隔診療が保険診療で認められているので、産業医においても遠隔診療での活動で済ませて欲しい。臨床医としては産業医の契約先へのコロナ感染拡大防止の観点からも訪問は避けたい

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 今後産業医活動を継続するにあたり希望することは何ですか②

体制整備	・ 健診結果をオンラインで確認する方法。現在、復職面談が延期になっていますが、休業期間満了で退職となる可能性等および雇用不安に伴う健康状態悪化が予想されます。自殺対策、社会のセーフティネットについても、産業医は知っておく必要があると思います ・ 感染対策などの職場での対策には特に産業医の役割が大きいと感じております。職場巡視などで換気や消毒の必要性について意見することもあります。職場で集団感染が起きた際には、企業として安全配慮義務での責任が問われる可能性があることを十分認識していただく必要があるかと存じます

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

Q 今後産業医活動を継続するにあたり希望することは何ですか③

企業の対応	・ 新規事業場に、初回訪問しました。大手メーカーでも理解がないのか、本社の指導が徹底しないのか。頭が痛いです ・ 医療専門家としての産業医をもっと活用してほしい ・ 産業医側はオンラインで面接などができますが、企業側が整っておらず、産業医業務ができていない会社があります
情報	・ 面接指導を産業医と従業員で直接する場合のルールづくりについてノウハウが知りたいと思います。（産業医と従業員が1対1の関係にならないような方法、産業医側の携帯電話やメールへの従業員の直接連絡等の制限ができる方法） ・ 現在も産業医職場巡視を実施している産業医の割合がどのくらいか知りたいです ・ 他社は現在の安全衛生委員会の中止をいつまでに設定しているのか知りたいです ・ 産業医も在宅勤務にしている企業（特に専属産業医）はどのくらいあるのか知りたいです

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.

株式会社ドクタートラスト https://doctor-trust.co.jp/

株式会社ドクタートラスト（本社：東京都渋谷区、代表取締役：高橋雅彦）は企業ではたらく人の健康管理を専門に受託している会社です。産業医（国内トップクラス）や保健師などの医療資格者が企業を訪問の上、健康診断結果に基づく健康指導、過重労働者面談、ストレスチェック、職場巡視、衛生委員会への参加などの業務を実施します。

サービスに関するお問合せ

株式会社ドクタートラスト　健康経営推進本部
TEL：03-3464-4000（代表）
企業さま用お問合せフォーム：https://doctor-trust.co.jp/form/doctor/

本件に関する報道機関からのお問合せ

株式会社ドクタートラスト　広報部
TEL：03-3464-4000（代表）　メール：publicity@doctor-trust.co.jp

© 2020 Doctor Trust Co., Ltd.